

報道機関各位

令和8年4月28日  
北九州市消防局

## 「第52回福岡県消防救助技術指導会」に向けて 選抜された救助隊員による訓練成果を披露

救助技術の向上に努めてきた消防職員が、7月の「九州地区消防救助技術指導会（熊本県）」、8月の「全国消防救助技術大会（新潟県）」への出場を目指し、その予選となる「福岡県消防救助技術指導会」を前に、これまでの訓練成果を消防局長に披露します。是非、取材いただきますようお願い申し上げます。

### 救助大会（指導会）訓練とは

- ▶ 救助技術に必要な基本的要素を錬磨し、体力・精神力・技術力を養う訓練
- ▶ 複雑多様化する災害に備え、消防が行う救助活動の万全を期すため、日頃の訓練成果の披露とあわせ、知識及び技術の向上を図ることを目的

1 日 時 令和8年5月8日（金）14時00分から16時00分まで

2 場 所 北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）

### 3 訓練概要

（1）スケジュール（時間は目安です）

内 容	時 間
訓練隊員による訓練開始報告	14:00
ロープ応用登はん	14:10
はしご登はん	14:20
ほふく救出	14:40
引揚救助	15:00
ロープブリッジ救出	15:20
技術訓練	15:40
消防局長訓示、代表隊員選手宣誓	15:55



（2）消防救助技術指導会の種目

別紙のとおり

4 参加者 訓練隊員29人（運営職員等を含めると約50人）

問い合わせ先  
消防局警防課 江口（課長）、川本（係長）  
電話 093-582-3817

## 消防救助技術指導会の種目等

種目名	内容	種目名	内容
① ロープ応用登はん 	2人1組で行います。 資器材を使わずに、腕力と脚力のみで15mのロープを安全・確実・迅速に登ります。 建物へ進入するための訓練です。 <b>2名(2名×1チーム)</b>	② はしご登はん 	命綱を作成した後に、15mのはしごを安全・確実・迅速に登ります。 建物へ進入するための訓練です。 <b>3名(個人種目)</b>
③ ほくく救出 	2人1組で行い、8mの横杭に1人が進入し、要救助者を発見した後、残り1人と協力して安全な場所まで救出します。 煙が充満したビルや地下室に要救助者が取り残されている状況を想定しています。 <b>6名(3名×2チーム)</b>	④ 引揚救助 	4人1組で行い、7mの塔の下に2人が降りて、要救助者を発見した後、残り2人と協力して塔の上まで引き揚げて救出します。 崖下や建物下に要救助者が転落した時を想定しています。 <b>5名(5名×1チーム)</b>
⑤ ロープブリッジ救出 	3人1組で行い、水平に張った20mのロープを2人が渡り、要救助者を発見した後、残り1人と協力して安全に救出します。 河川の中洲等に要救助者が取り残された状況を想定しています。 <b>8名(4名×2チーム)</b>	⑥ 技術訓練 	定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で確実・迅速な訓練を発表するものです。令和8年度の訓練テーマは「自然災害における救助活動」です。 <b>5名(5名×1チーム)</b>

## 【参考】

## ■第52回福岡県消防救助技術指導会

令和8年5月22日(金)

場所:福岡県消防学校

## ■第54回九州地区消防救助技術指導会

令和8年7月10日(金)

場所:熊本県消防学校

## ■第54回全国消防救助技術大会

令和8年8月22日(土)

場所:新潟県新潟市 鳥屋野潟南西部臨時駐車場